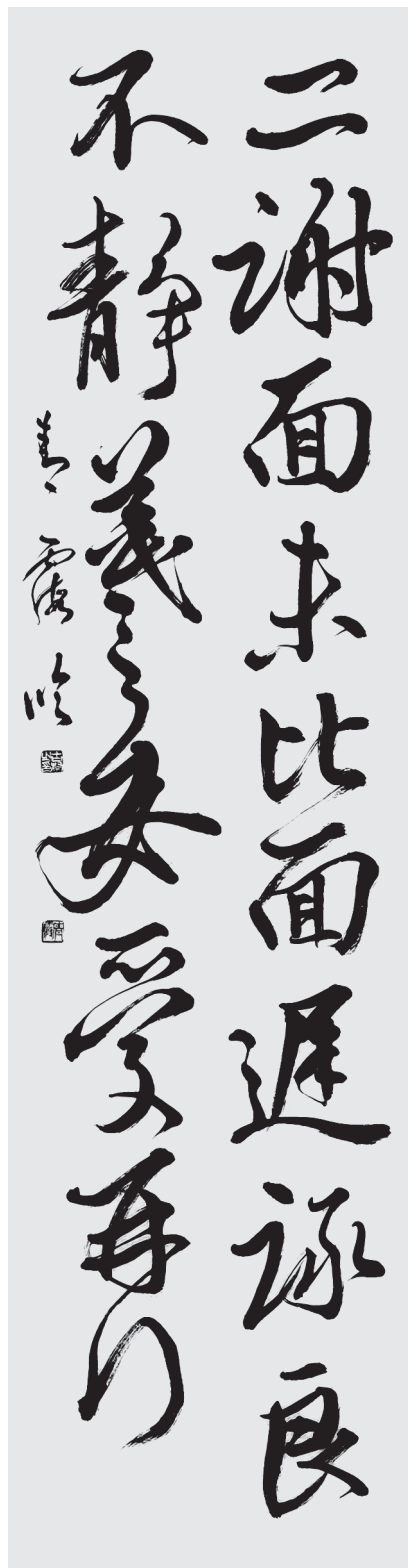




条幅規定

師範正 小野 清丹

落筆高く、運腕大きく、木簡の筆意を活かし、無理のない厚みのある自然なりズムから生まれた線に魅力を感じる。ただ「轍」「跡」の線が単調なのが惜しいところ。起承転結を意識して書こう。

条幅随意(臨書)

師範正 古村 青霞

文字を理解し、手首柔らかく大きな運腕で無理なく、最後まで書き切れ、気脈も自然で安定した書きぶりに好感がもてる。遅速・緩急の変化から生まれた線質も魅力的ですね。更に期待します。

条幅随意

師範正 末森 水苑

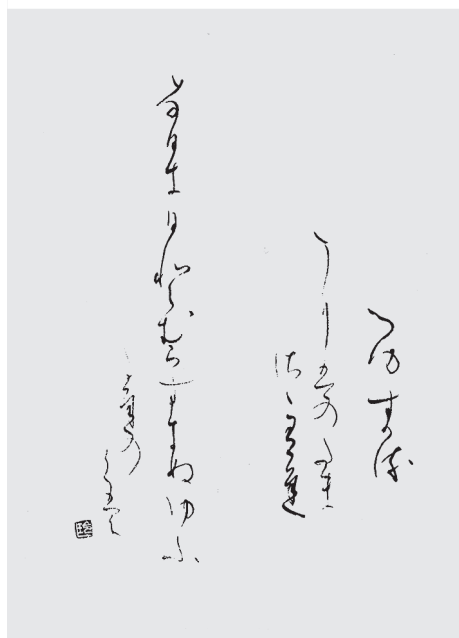
文字の大小、響き合い、潤渇など、すべてが計算され、また自然に配置された構成も楽しく、作品に生命感を感じる。日頃のこのような挑戦が、次の作品づくりの大きなヒントとなる。精進を。



半紙規定

師範 豊嶋 祥波

確かな用筆と無理のない自然なリズム、それから生まれる骨力のある落ち着いた線。また、細部にまで気配りされた構築性とバランスのとれた配置など、存在感充分な作品。



半紙随意

師範 井上 玲秀

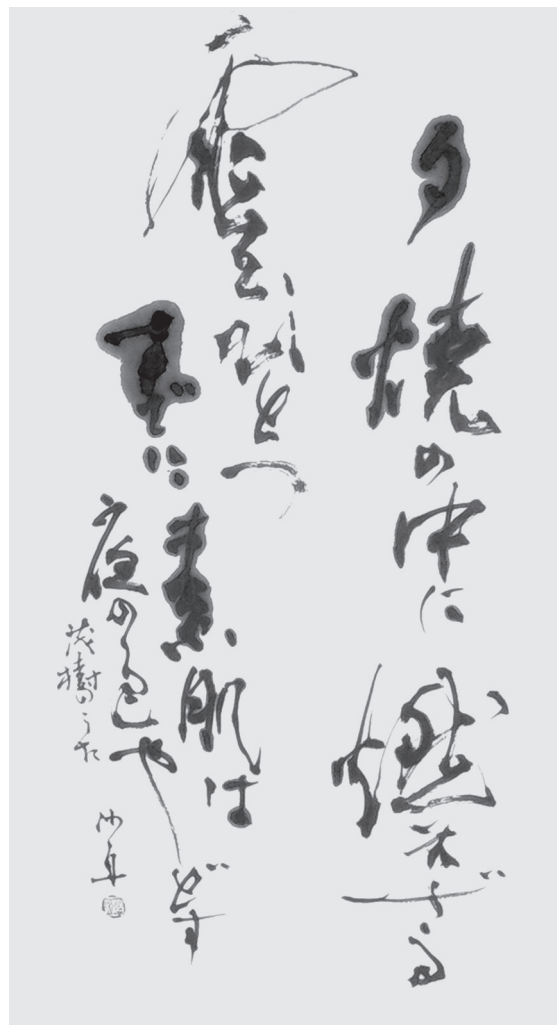
全体を貫通する勢いのある運筆で線に迷いなく、生き生きとした躍動感に溢れている。文字造形にも作者の意志が感じられ、濃みない美しさのある作品に力量と感動を覚える。



半紙随意(臨書)

準三段 白石喜久美

リズムに乗った流れる線とゆっくりとした落ち着いた線、それぞれに緩急が織りなす多彩で変化に富んだ線が互いに絡み合い、見事なハーモニーを奏でている作。名前の練習を。



半折1/2縦

成家 下川 沙舟

行の大小と揺らぎをみせ、余情たっぷり表現されている。青墨の墨溜りと余白も美しく響き合っている。また、作品の中心の余白も活かされ、絵画的で完成度の高い作品となった。次回にも期待大。



学生部条幅 (1/4)

中二 準特待生 五反田桜花
書き始めから名前まで集中し、力強い線で堂々と書けましたね。継続は力なりです。頂上まであと二歩！頑張ってください。期待しています。

ふな森よしの
小二 5級
むずかしいひらがなもしっかりとれんしゅうのできたすばらしいさくひんです。これからもがんばってくださいね。
岡 陸斗
小三 5級
き本の筆づかいがきちんとでき、名前まで形よくとてもじょうずに書けています。これからの陸斗くんの成長が楽しみです。

世良 果恋
小四 2級
どっしりとした厚みのある線でバランスよく書けています。名前もすばらしい。この調子で「段位」を目指してくださいね。
吉原 煌
小五 5段
堂々とした立派な「道」ですね。名前の練習もしっかりと出来た作品です。今後、さらに期待しています。

土屋 葵
小六 3段
全体のバランスの難しい課題でしたが、お手本をしっかりと観て、形良く書けています。今後さらに期待しています。
西村 咲希
中一 準四段
初めての「行書」作品への挑戦だったと思います。が、お手本をよく観て、バランス・形・流れともに、とても良く書けています。

のだゆうか
小一 準7級
はんしいっぱいにゆうかさんのげんきがあふれた、りっぱなさくひんです。おけいこのたのしさがつたわってきます。

井口 慶乃
小四 1級
むずかしい課題でしたが、一画一画でいいな筆づかいで書けています。名前もしっかりと練習のできた立派な作品です。

谷 美智
小五 3段
明るく伸びやかな線でバランス良く書けています。名前も見事です。さらに上の段位を目指し、これからもがんばってくださいね。

岡 芭都妃
中二三準特待生
伸びやかな線がとても魅力的で、行書の自然な流れも見事です。大変な時ですが、目標に向かって頑張ってください。期待大！

(6月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

段	級
氏名	
はせせさくら	

段 級						
氏 名	に	赤	か	ミ		
た	お	い	お	ニ		
し	い	ト	を	ト		
ろ	が	マ	近	マ		
は	し	ト	づ	ト		
る	ま	と	け	の		
か	し	同	た	み		
	た	じ	ら	に		

日本にはぎまやまなこ	
まががあります。世界でい	
ちばんしゅるいが多い	
国だといわれています。	
段 級	
氏 名	木上 紗希

テレビの画面には会場全体がうつし出され、選手たちはゴート全体に広がり、体を動かしています。

テレビの画面には会場全体がうつし出され、選手たちはコート全体に広がる。体を動かしています。

実験してみよう。新聞紙を一直
用意する。まずは、広げて立
ててみる。くたつと曲がつて立
てられない。次に、丸めて円柱
形にしてみる。すると、立つ。

実験してみよう。新聞紙をま
い用意する。まずは、広げて立
ててみる。くたつと曲がって立
てられない。次に、丸めて円柱
形にしてみる。すると、立つ。

土の上に残された大きな足あと
を見たとき、急に胸がどきどきし
てきました。そう、クマの道だった
のです。森林の中から、今にもクマが
やって来そうなきがしました。

気がつくと地面が白い星形でいっ
 はいになつていた。これじゃ踏めな
 い。これじゃもう動けないと夏実
 は幹に体を寄せ、二人で木に閉じ
 込められた。そう言つて笑つた。

一年
段 級
氏 名
小山心優

気がつくと、地面が白い星形でいっぱいになっていた。これじゃ踏めない、これじゃもう動けない、と夏実
は幹に体を寄せ、二人で木に閉じ込められた、そう言って笑った。

文化は―――は異質の出会いから
生まれ、貧乏絵描き、路上の物売り、
旅芸人、移民に異教徒、そう―――た都外
者をつなぎとめ包容するもの、文化の
苗床と―――の教育の力量であらう。

姓	姓
氏名	満江恵美子

父の目、おめつとつゞきいます。
いつも帰りが遅いので、体のくもが心配です。
働かすきなで、たまには趣味の釣りがう
楽／＼で、のんびり／＼なうとどめてすよ。
そんな忙し／＼お父さんにびつたり、の祝を
娘と見／＼と、少し／＼お母さんのお役に
立ては、幸／＼です。
／＼から／＼と、元気なお父さんで／＼と
／＼／＼。父の目に感謝を／＼と。

書

長谷部さ 小一 8級 一じ一じただし、きれいにかけましたね。がんばっておいこをしたせいかでできています。これからがんばってね。	田代 悠 小二 準3級 マスいっぱい元気よく書いています。漢字もしっかりと練習ができていて、バランスよくかけた立ばな作品です。	木上 紗希 小三 4級 むずかしいペンをじょうずに使って一字一字一生けんめいに書いています。しっかりと練習のできた立ばな作品です。
藤井 夏希 小四 準三段 漢字と平仮名のバランスが良く、書き始めから名前まで集中してとても上手に書けています。さらに上の段を目指しましょう。	今富 彩羽 小四 準1級 書き始め、鉛筆の色がうすい点はおしいのですが、伸びやかな線でも元氣よく書けています。今後期待しています。	坂本 和 小五 四段 力のこもった強い線でバランス良く書けています。今後はペンで書くことにも挑戦し、さらに上の段位を目指しましょう。
原口 澤 小五 1級 明るく伸びやかな線にとても魅き力を感じる作品です。漢字と平仮名のバランスが良く、しっかりと練習ができています。	蕨野 里香 小六 五段 伸びやかで大きな作品です。ペンを上手に使って名前まで立派に書けています。書く時の姿勢に氣をつけて頑張ってください。	小山 心優 中学 準特待生 お手本の観察力が見事です。書き始めから名前まで集中力を切らさず、しっかりと丁寧な書きかけの完成度の高い作品です。
宮林 陽菜 中学 六段 ペンを上手に使い、お手本の細部までよく観察し、とても丁寧に書けています。この調子でさらに上段位を目指しましょう。	満江 寿琴 一般 師範正 文字の大小・抑揚の変化が自然で、力味のないペン捌きが見事です。伸びやかな筆致で明るく作品を纏められています。	三原 典子 一般 準三段 お手本をよく観て、丁寧な筆致で書かれた作品です。今後は、抑揚の変化を加味した自己のリズムの確立を期待します。